

みんなで考えよう・みんなで作ろう！（仮称）自治基本条例

## 第3回 テーマ

# 市民

2016年9月17日

# 配付資料

1. 次第
2. 前回のワークショップの結果
3. アンケート集計結果
4. ワークショップレポート
5. 逗子市例規における「市民」「住民」の定義等について
6. “逗子市民度”チェックシート
7. グループワーク「逗子のまちがよくなるために、市民はどうあるべきか」
8. アンケート

# 前回(第2回)の終了後



**愛称が決定しました！**

# **逗子の未来協議会**

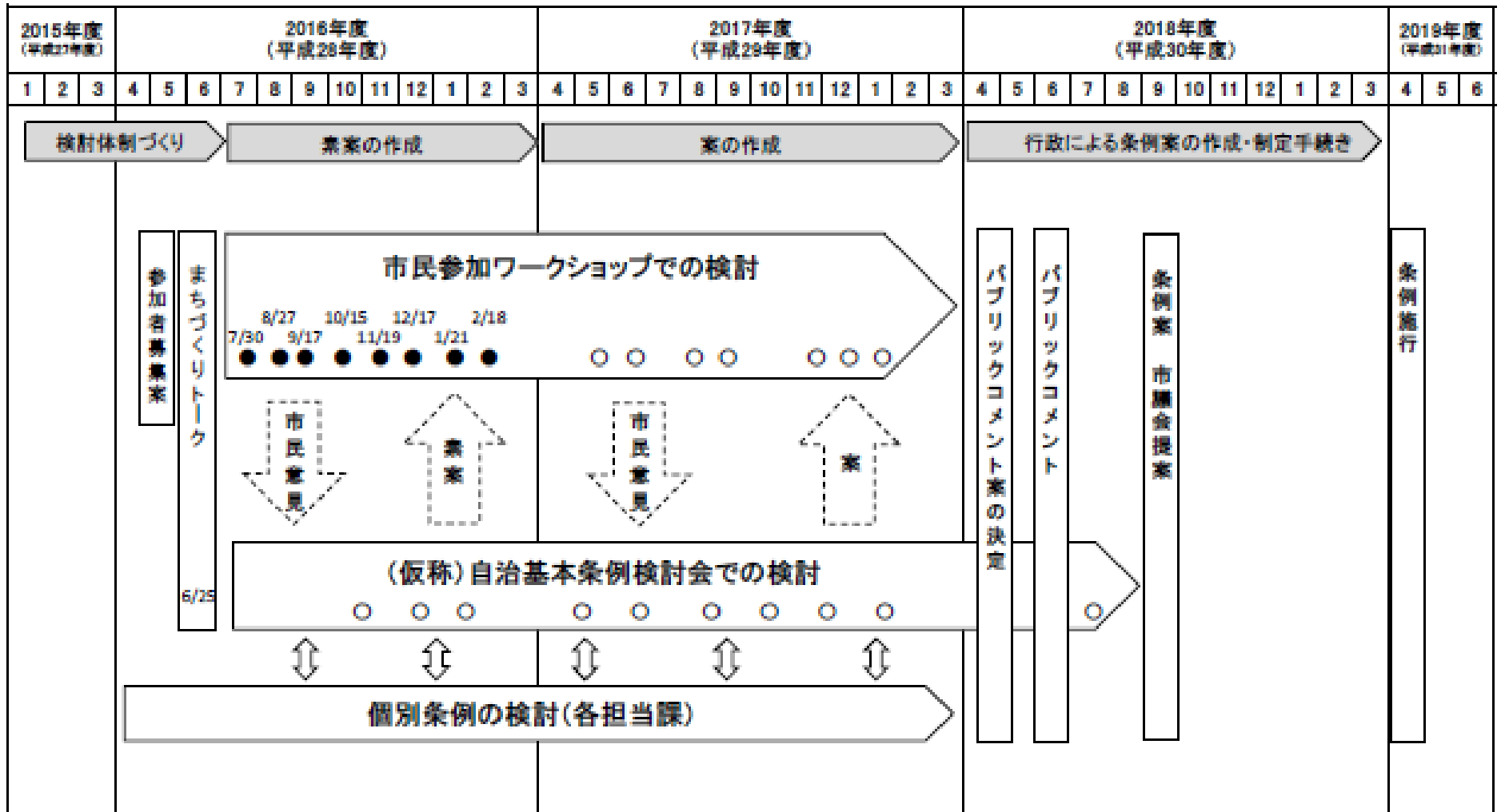
**★最大得票を集めました(7票)**

# 本日の進め方

- ワークショップ全体構成の説明
- 前回のふりかえり
- 逗子市例規「市民」「住民」定義
- 逗子市民度チェック
- グループ意見交換
- 発表、全体共有

一部席替え  
をします

# ワークショップ全体構成について



- 市民参加ワークショップは二年間(2016年度・2017年度)
- 条例は2018年度に議会提出、2019年度に施行(予定)

# 今年度ワークショップの展開

済 7月「豆子でこういうふうに住らしたい」

済 8月「合意形成とルール」

◆ 9月「**市民**」

□ 10月「**公共**」

□ 11月「**条例を知ろう**」

□ 12月

□ 2017年1月

□ 2月

前半は  
「土台」づくり

後半は個別案件の検討  
(市長・市議会・行政の役割、等)

# 前回のふりかえり「合意形成とルール」



コンセンサスゲーム「砂漠で遭難したらどうするか」  
予想していた以上の反響がありました！

～積極的なご参加、ありがとうございます～



# 逗子の未来協議会 レポート

No.2 (平成28年9月)

「逗子の未来協議会」とは(仮称)逗子市自治基本条例の検討を行うワークショップのことです。

## ワークショップの愛称を「逗子の未来協議会」に決定!

本ワークショップの愛称を参加者に考えていただいたところ、60近くものアイデアが集まりました。そこで、第2回目の参加者に1人1票で投票いただきました。その結果、「逗子の未来協議会」が最も多い7票を獲得しましたので、これを本ワークショップの愛称に決定いたします!

早速、本レポートも「逗子の未来協議会レポート」としました。どうぞお見知りおきのほど、お願いいたします。アイデアには、「未来」というキーワード使っているものが多く見られました。これは自治基本条例がこれからの逗子の新しいルールになることを皆さんが期待していることの流れではないでしょうか。

## 第2回ワークショップは、「合意形成とルール」がテーマ



第2回ワークショップではテーマを「合意形成とルール」として意見交換を行いました。

何かを決めるとき、自分以外の人に何らかの影響を及ぼす場合には、必ず他者の合意が必要になります。

皆さんもご経験があるのでは? 家族旅行の行き先を決めるとき、自治会やPTAでイベントを行うとき、仕事で企画などを決めるとき。これは、市が新しい計画や条例をつくる時も同じです。

もしこれが何の説明も、合意もない中で勝手に決められているとしたら…。また、すんなり合意できればいいのですが、意見が分かれたときは、一体どのようにしたらいいのでしょうか。

そこで、合意形成の難しさを体験した上で、改めて合意形成について考えていただくために、「砂漠で遺跡したらどうする」という内容で、12のグッズの優先順位を決めてもらうというゲームを行います。



した。このゲームは、企業研修などにも用いられるものですので、ご存じの方もいらしたかと思います。

ゲームを通して、合意形成に大事なものについてグループで話し合っていた結果、

「まず人の話を聞く」  
「自分の意見もきちんと言う」  
「納得するための説明や理屈が必要」  
などのキーワードが出されていました。

※記録していただいたワークシート、発言録は資料としてまとめ、市ホームページ等で公表します。

「条例とどのような関係があるの?」と、いったご意見がありました。まさに、何かを決めるときルールとして、どのような手続きが条例に規定されればいいのか、とだけのことをすれば合意が得られたと見なすのが等々、皆さんが出していただいたご意見は、条例の中身にも、またこれからこのワークショップでの検討においても、活かせるものと考えています。

# 合意形成で大事なこと

- ◆ **まず人の話を聞く**
- ◆ **自分の意見もきちんと言う**
- ◆ **納得するための説明や理屈が必要 など**

**前回ワークショップの結果**

**および、アンケートを**

**お読みいただく時間を**

**とります(5分程度)**

# 合意形成は難しい(東まとめ)

- ✓ 100%の「同意」は無理  
→大きな方向性を決める、「納得」と「共感」
- ✓ 大勢で一斉に話し合う合意形成は難しい  
→全員が意見を言える雰囲気が重要
- ✓ 多数決が合理的だが、不満が出やすい  
→少数意見を尊重する
- ✓ 前提条件や基本認識の差が大きい  
→参加者の共通認識をもつことが必要

# 今回と次回の狙い

～前提条件についての合意～

自治のあり方を考えるうえで  
重要となる概念

「**市民**」と「**公共**」について

共通認識をもつ必要がある

**逗子市例規における**

**「市民」「住民」**

**の定義等について**

# グループ替えをします

アンケートで頂いたご意見をふまえて  
「若い方が発言できる雰囲気」を作りたい

- グループの構成で年代と性別に多様性が生まれるように、席替えをします
- 属性に偏りがあるグループは  
(60代以上、男性又は女性のみになっていたら)  
他のグループとメンバーチェンジを

# 逗子市民度チェック

のシートをご記入ください

上の二つは自己紹介用

下の設問はチェックテスト

※このシートは回収しません

# グループ内自己紹介

若い方(気持ち)から順番にお話してください

**「逗子市民度チェック」の  
上の二つの質問をもとに  
一人90秒程度で自己紹介**

**自己紹介が終わったらチェックテストの確認**

**★10分後(15時)に完全終了します**



# グループの話し合い 手順

- ◆グループ内で「**進行役**」と「**書記役**」を決める
- ◆グループワーク資料にある「**3つのテーマ**」からグループで話す **テーマを一つだけ** 選ぶ  
→決まったら書記役が模造紙に大きく記入
- ◆視点をもとに「**逗子のまちがよくなるために市民はどうあるべきか**」について話し合う
- ◆**15時25分に発表**（発表者も決めておく）  
「**選んだテーマ**」と「**大切だと思ったこと3つ**」

＜テーマを選ぶ＞資料にある3つのテーマから  
グループで話すテーマを1つだけ選ぶ

# 逗子のまちがよくなるために 市民はどうあるべきか

市民に求められる具体的な行動、  
個々人の生活のあり方、地域活動等

＜発表＞ ーグループあたり90秒以内

「選んだテーマ」と「大切だと思ったことを3つ」

# 15時30分グループ発表(全体共有)

- グループで一人、発表者を決めます
- 発表者は「**選んだテーマ(3つのうち1つ)**」  
「**大切だと思ったことを三つ**」にしぼって  
お話してください  
※発表で模造紙は使用しません(記録用です)
- 発表：**一グループあたり90秒以内**  
(呼び鈴を90秒経ったら一回、2分で二回→終了)

# 次回予告

テーマ「**公共**」

10月15日(土)14:00～16:00

～アンケートのご記入をよろしくお願ひします～

記載内容は、ワークショップの記録として  
次回配付 および 市HPに掲載します